

研修レポート

「東日本大震災からの復興の取り組み」

～ 福島県内の東日本大震災復興都市（いわき市、楡葉町、相馬市、新地町）～

東海村建設農政部都市整備課 課長補佐 大友 佳一
主事 秋山 睦季

はじめに

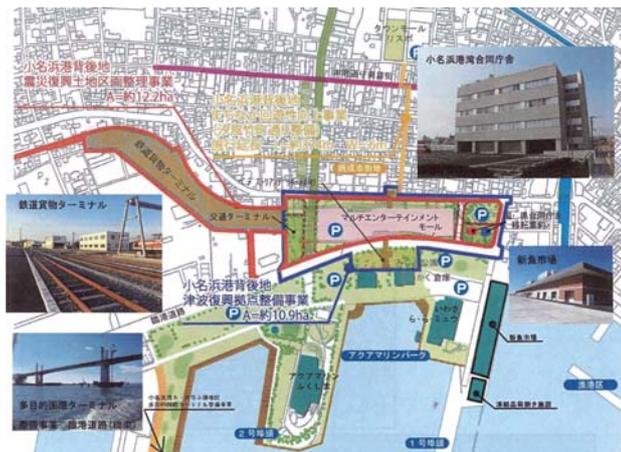
2011年3月11日に発生した東日本大震災は日本の観測史上最大級の地震、それに伴って発生した津波、原子力災害は東北地方及び関東地方に甚大な被害を及ぼしました。

震災から5年が過ぎ、復興へ歩み始めた福島県内の取り組みを平成28年7月7日から8日の日程で「第42回まちづくり拝見研修会」へ参加し、視察してきました。

いわき市の取り組み

・小名浜港背後地地域

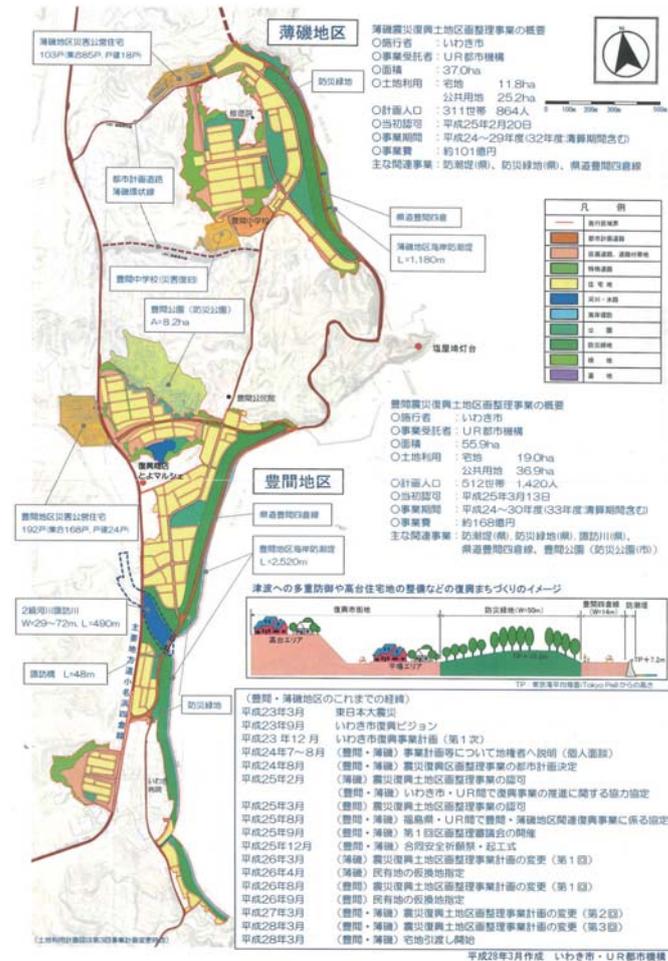
人口約32万人のいわき市において、重要港湾小名浜港を中心に広がる地区で、市街地は小名浜港の発展と密接に関わり合いながら形成されてきました。東日本大震災では小名浜港も被害を受け、港の復旧、また産業・観光振興の拠点としての震災復興土地地区画整理事業等により、都市計画道路平磐城線の延伸や国・県庁舎の移転整備、鉄道貨物ターミナル移転跡地の再開発（商業施設の誘致）を行い、港と市街地が一体となった魅力あるまちづくりを進めています。現在は整備事業のスケジュールも終盤になり、避難道路整備を含めた商業施設（イオンモール）の建設を行っているところです。



・薄磯地区

薄磯地区はいわき市平の中心市街地から南東約10kmにあり、県内屈指の海水浴場として賑わい、民宿や海の家が多く建っていました。東日本大震災では最高8.5mの津波に襲われ、甚大な被害を受けました。薄磯地区では津波から市街地を守る多重防護堤の形成や高台住宅の整

備など、区画整理と防潮堤や防災公園等の関連施設整備を一体的に進めています。高台住宅の整備はUR都市機構の力を借り、必要な設計・工事をCM方式により一括発注することで、工程の短縮を図っていました。

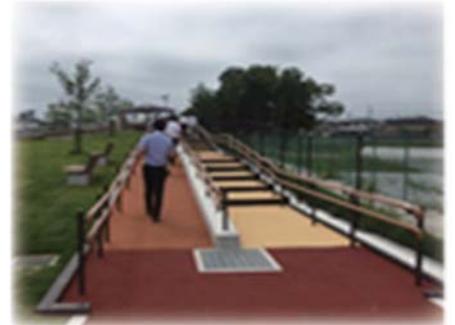


・久ノ浜地区

久ノ浜地区はいわき市平の中心市街地から北東へ約15kmに位置し、震災前は久ノ浜港を活かした水産業を中心に賑わっていました。東日本大震災では8.0m超の津波に襲われ、甚大な被害を受けました。復興に向け、津波から市街地を守る防潮堤と背面の防災緑地（幅約500m）を合わせた多重防護施設の整備と土地地区画整理事業による高台住宅地等の整備を一体的に進めています。基盤整備工事の早期着手を図るため、地権者の権利関係の把握に努め、仮換地指定前の段階から工事施工承諾書を取得し、津波により流出した家屋等の基礎撤去工事を実施しました。



災害公営住宅



刈敷田南公園

■新地町の取り組み

新地町は福島県浜通りの最北端に位置し、北と西は宮城県に接しており、豊かな田畑、果樹園が広がっています。震災では津波によりJR新地駅の流出等の被害がありました。復興に向け、新地駅に隣接する新地町中心部を津波に対応した安心安全な中心拠点となるように各機能を集約し、災害時には防災拠点となるまちづくりを推進しています。JR新地駅も内陸側に移設し2016年末の復旧を目指し、その開通にあわせた復旧計画を進めているところです。

■おわりに

今回の視察を通して、改めて東日本大震災による被害の大きさと復興の難しさについて感じました。復興工事が終盤に向かっていている場所がある一方で、原発事故による避難指示のあった町などはまだまだ復興に向け歩み始めたところであり、震災からの復興は時間がかかるものだと感じました。また、各市町村職員の方々から住民の方と真摯に向き合って、まちのあり方を考え、スピード感を持って復興計画を策定、実施されている姿を目の当たりにし、行政として災害からの復興がいかに難しい問題なのか、災害に直面したときの私たちのあり方を考える機会となりました。

■楢葉町の取り組み

楢葉町は福島県浜通りの中程に位置し、ナショナルトレーニングセンターであるJヴィレッジがある町です。震災後、楢葉町全域に避難指示が出ていましたが、2015年9月5日に解除され、コンパクトタウン分譲宅地の開発、JR常磐線ダイヤ改正、学校再開に向けた支援等、復興に向けて歩み始めました。しかし、帰町した町民は震災前の人口約8%にしか達しておらず、空き家になった住宅の再建が課題となっています。

■相馬市の取り組み

相馬市は奥州相馬氏が築いた城下町であり、今なおその文化を守っています。東日本大震災では9m超の津波に襲われ、甚大な被害を受けました。復興に向けた住宅再建事業は2015年3月に完了し、住宅のデザインも建築デザインコードを指定し、城下町らしい景観を守るものとなっています。また、被災し災害住宅に住む、引きこもりがちな高齢者に向けた公園をオープンし、セミナー等を通して公園を活用、介護予防、コミュニティ形成を図る場となっています。